

令和4年度 上尾市立大石北小学校 学校評価(自己評価結果)

(学校評価の自己評価とは) 学校評価は、児童がよりよい教育を受けることができるよう、学校が自らの教育活動の成果を検証し、学校運営を改善し、その教育水準の向上を図ること、また、自己評価を公開し、保護者・地域の皆様の御理解を得て、学校・家庭・地域とが連携して児童を育てていくことを目的としています。学校評価の実施は学校教育法に規定されています。自己評価は、児童・保護者に実施したアンケートを参考資料として、作成しています。

(評定の基準)

A: 目標をよく達成できた状態(達成度9割以上) B: 目標はほぼ達成できたが改善が必要な状態(達成度7割以上) C: 目標を達成できず、顕著な課題がある状態(達成度7割未満)

領域	学校評価項目	自己評価	評定
A 信頼される 学校運営	1.学校は、教育活動を年間計画に基づいて適切に実施している。	1-1 学校教育目標の共通理解は図れているか。	A
		1-2 全体計画・年間計画に基づいた指導を実践できているか。	A
		1-3 次年度に生かす評価を実践し、改善そうになっているか。	A
	2.教職員は、校務分掌を協力して実施している。	2-1 教育活動に対して課題をもち、達成をめざす分掌組織になっているか。	A
		2-2 学年・学級相互の連絡が円滑で、学校全体として意欲や力を発揮できる組織になっているか。	B
		2-3 分掌ごとの話し合いができており、組織が機能しているか。	B
	3.学校は、積極的な生徒指導・教育相談・特別支援教育を推進している。	3 いじめ・不登校・問題行動等の未然防止対策及び速やかな対応は行えたか。	A
	4.学校は、基本的な人権を尊重する教育(いじめ防止・体罰禁止)を推進している。	4 児童一人ひとりのよさや可能性を大切に、人権を尊重する教育に努めたか。	A
	5.学校は、働き方改革を積極的に進めている。	5-1 勤務時間や休暇の取得等、ワークライフバランスに配慮した環境であったか。	A
		5-2 日課や学校行事の精選、情報機器を活用した校務の効率化が図れているか。	A
	6.教職員は、高い使命感をもって指導している。	6 教職員としての職責を理解し、教職員事故に対して自分事として捉えることができたか。	A
<p>【結果に対する学校の考え方】</p> <p>○教育活動は指導計画に基づき実施しました。児童の97%が「学習にしっかりと取り組んでいる」と回答しており、落ち着いた学習状況にあります。今後も引き続き、児童が主体的に学習できるよう、計画的に教育活動を展開していきます。</p> <p>○いじめ防止・不登校傾向児童への教育相談など、児童一人一人の人権を尊重した教育については、教職員は9割以上の評価をしており、教育相談等の充実を努めています。保護者は86%、児童は89%で「相談ができる」としており、今後も引き続き、相談しやすい対応に努めていきます。また、9割の児童が「思いやりの心をもち友だちに接することができる」としており、友だちを大切に生活を送っています。今後も児童の豊かな心を育てることができるよう、家庭・地域と共に「心の教育」を推進します。</p> <p>○教職員の働き方については、校内ではICTを活用した業務の効率化を進めました。効率化が図られる一方、19%の教職員が「話し合う時間の不足」を挙げており、効率と充実のバランスを図ることが今後の課題です。</p> <p>○98%の児童が「先生はよいことは褒め、悪いことは正してくれる」としており、全教職員が職責を理解して使命をもって指導しています。今後も、引き続き、情熱をもって組織的に指導にあたります。</p>			
B 安心安全な 教育環境	7.学校は、安全教育を適切に実施されている。	7 事件・事故・災害に対し、全教職員が意思統一を図り、適切な対応ができているか。	A
	8.学校は、安全点検を行い改善がなされている。	8 安全点検を計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。	A
	9.教室・特別教室等は、整理整頓されている。	9 教室・特別教室等は、整理整頓されているか。	A
	10.児童は、清掃活動に熱心に取り組んでいる。	10 黙々清掃や用具の使い方等の指導を継続して行い、清掃活動に取り組みすることができたか。	A
	11.児童は、安全に登下校している。	11 学校全体で、下校時の見届けや安全指導を継続的に行うことができたか。	A
<p>【結果に対する学校の考え方】</p> <p>○安心安全な教育環境については、いずれの項目も教職員、保護者とも9割超で評価され、整った環境に努めることができました。今後も、整理整頓に努め、安心安全な教育環境をつくっていきます。</p> <p>○9割以上の児童が、「廊下歩行・清掃・安全な登下校ができた」としています。今後も引き続き、児童が自他の命を守ることができるよう安全教育を行っていきます。</p> <p>○16%の児童は「机・ロッカーの整理整頓ができない」としており、身の回りの整理整頓については、御家庭と協力して粘り強く指導をしていく必要があります。</p>			
C 豊かな 教育活動	12.教職員は、PDCAサイクルで基礎的な学力向上に努めている。	12 基礎・基本を確実に定着させる指導に取り組み、成果を上げることができたか。	A
	13.学校は、ICTを活用し、学びのイノベーションを推進している。	13-1 ICT端末を使って、まなびポケットや北小ポータル等各種教材を活用し、児童の情報活用能力の育成を図ることができたか。	B
		13-2 オンライン教材等を活用して、情報モラル教育を進めることはできたか。	B
	14.学校は、外国語教育を系統的に実施している。	14 ALTと協力して、英語活動・外国語活動・外国語を指導することができたか。	A
	15.学校は、体験的な学習を実施している。	15-1 授業や学校行事で児童に体験的な学習を実施することができたか。	A
		15-2 家庭や地域、学校応援団と協力・連携して児童に体験的な学習を実施することができたか。	A
16.学校は、今日的な課題に対応した教育を実施している。	16-1 研修主題「自分の考えを書いて表現できる児童の育成～論理的思考力の向上を目指して～」に沿った校内研修は計画的にできたか。	A	
	16-2 校内研修の成果は、日常の教育実践に生かされ、活力ある教育活動が展開できているか。	A	

【結果に対する学校の考え方】

○基礎基本の定着、体験的な学習、家庭地域と連携した学習指導については、様々な工夫と取組を通して推進できました。また、94%の児童が「宿題にしっかりと取り組んでいる」としており、家庭と連携した学習習慣の定着も図られています。

○外国語教育については、教職員・児童は9割以上で高評価がありました。一方、保護者は9割に達しなかったことから、児童とALTとの日常的なかかわりや、授業の様子などを積極的に公開し、理解の促進に努めていきます。

○ICTを活用した教育は、93%の児童が「端末を使って学習している」としています。情報活用能力や情報モラル教育の充実は、教職員・保護者ともにさらに充実が必要であるとしていることから、今後の重要な課題として取り組んでいきます。

○本年度の学校課題研究発表会は、授業動画配信、オンライン研究協議等、ICTを活用した新たな方法で取り組みました。今後も教職員の研修を進め、よりよい指導ができるよう努めていきます。

D 健全な児童の	17.教師は、学習規律を繰り返し指導し、児童は落ち着いて学んでいる。	17	学習規律を繰り返し指導し、定着させることができたか。	A	A
	18.学校は、児童にあいさつ・返事を繰り返し指導している。	18	「進んであいさつ」・「はっきりした返事」をする指導を継続し、定着させることができたか。	A	
	19.学校は、児童に読書習慣を身に付けさせている。	19	図書室を積極的に活用したり、家庭や図書支援員と協力したりして、児童の読書習慣を育てることができたか。	A	
	20.学校は、健康教育を適切に実施している。	20	養護教諭や保健主事等と協力して、児童の健康教育を充実させることができたか。	A	

【結果に対する学校の考え方】

○学習規律については、日頃から繰り返し指導を行い、児童もよくきまりを守って生活しています。今後も、規律ある学校生活の中で落ち着いて学習できるよう指導していきます。

○あいさつ・返事については、本校の重点として繰り返し指導していますが、保護者・児童の認識は87%と一致しており、引き続きあいさつ・返事がしっかりとできる児童の育成を、家庭・地域と連携しながら粘り強く取り組んでいきます。

○読書教育については、学校・保護者・児童の結果に認識の開きがあり、学校・家庭の中で読書習慣を形成していくことが課題です。家庭と連携して、読書に親しむ児童が育成できるよう工夫していきます。

○今年度も感染症対策を継続しながら教育活動を行いました。学校全体で手洗い・換気などの健康管理について危機意識をもって取り組んでいます。今後も、児童が主体的に健康な生活を送れるよう取り組んでいきます。

E 地域保護者等・地	21.情報が適切に発信されている。	21	学校は、教育方針、教育活動についてさくら連絡網や通信、HPを通じて、積極的に家庭・地域に伝えているか。	A	B
	22.保護者・地域の相談・意見に誠実に対応している。	22	保護者から相談があった場合は、すぐに管理職や学年主任に報告するなど組織的に対応することができたか。	A	
	23.学校運営協議会は適切に運営されている。	23	学校運営協議会の議事録等について、理解していたか。	B	

【結果に対する学校の考え方】

○情報発信については、さくら連絡網やHPを通して工夫して行いました。また、個人面談予約や児童の健康観察をオンラインで行うなど、保護者の利便性を図ることもできました。今後も、わかりやすい情報発信に努めていきます。

○学校運営協議会については、情報公開や情報発信に課題があります。今後も学校運営協議会の理解が深まるよう、工夫していきます。